

市総合計画策定に係るビジョンについて

1 基本概念（理念を掲げることにより、30年先の「あるべき姿」が描写できると考えます。）

①住民を大切にしたい町づくり

住民一人ひとりの人権とその自立を尊重し生きがいをもって暮らせる町づくり。「人」を町づくりの中心に考えること。

②社会変化に柔軟に対応する町づくり

「百年に一度と言われる世界経済の悪化」で、財政が困窮している。30年先においても、幾たびこのような状況がくるのか想像がつかない。かつて、加西市においても三洋電機の主力部門等が無くなり地元産業界に大きな影響を及ぼした。

このような、変化に柔軟に対応できるよう準備をしていく必要があります。具体的に示すと、

ア. 産業構造の変化への対応

イ. 少子・高齢化、人口減少社会への対応

ウ. 高度情報化への対応

エ. 地方分権への対応（道州制、市町村合併）

③新たな発想に基づく町づくり

行政の果たすべき役割は、時代とともに変化しています。現在、当市においても、市行政の役割を再検討されていると思います。

行政にできることは限界があります。企業等との連携が、今後益々重要となります。（PPP等）

以上、3点の基本概念を掲げます。

2 加西市総合計画の目標（各目標が、30年先の「あるべき姿」）

1の基本概念をふまえ、以下各論的な目標を掲げます。

①生活を支える都市基盤を整える

正規雇用が少ない中で、若者が将来の生活設計を立てることができない。年収200万円が生涯にわたって続くような状況では、益々人口減少が進みます。地元の雇用状況の改善が必要です。

正規雇用で給与をもらえれば、住宅の購入、車両の購入が可能になり、郡部における生活基盤が確立できる。

その他医療、介護、育児支援を充実させる。

②安心して暮らせる環境

救急業務で日々感じていることですが、高齢者宅の実情はかなり厳し

いものがあります。既に、限界家庭と思われる家はかなりあります。

火災・救急業務の充実。

大規模災害（地震等）に備えた、防災体制充実。

③ 創造性と個性を大切にした教育・文化を育てる

学校統一については、勧めていくべき課題だと思います。更に、中・高一貫教育、そして大学の誘致。近隣市町と合併を考えるならば、兵庫教育大学を総合大学にし、地元企業等と産学連携を考え、卒業生が地元企業に就職できるシステムを構築する。

④ 活気のある産業活動支援

持続可能な地域づくり・町づくりを考えていく上で、この課題が最も重要である。持続可能な地域づくりには、地域内の資源や伝統及び地域性を見直し、新たな産業の育成をはかっていく「内発的発展」を構築していく必要があります。

加西市の産業は家電製品製造業、金属製品製造業を主体とする第2次産業が中心で、小規模な事業所から大企業（三洋）までそろっており、生産技術やものづくりのノウハウの蓄積は県下有数である。また、農業では米、ぶどう（ゴールドンベリーA）、とまと、大根など多彩で高品質な作物を生産しており、第1次産業でも特徴があります。

もともと、地場産業において1次・2次産業で自力のある加西市のような市は、県下では他に例がないのではないかと考えられ、この特徴を生かさないのは大変もったいないと思います。

行政が支援し、この地元の産業力を新たな産業転換へと替えてみる必要があると考えます。

これを、達成できれば、雇用が生まれ人口増が予想されます。

三洋の電池工場を基点とした、将来のエネルギー産業を展開する関連企業の誘致。また、既存の地元産業をエネルギー産業へ転換する支援。第1次・2次産業において、新商品開発及び流通支援。

⑤ 的確な財政運営と住民参加

現在の市政は、この方向で進んでいると思います。

3 各10年間のシナリオ

以上、基本目標を掲げましたが、この目標に優先順位をつけ、10年単位で「シナリオ」を描くのは、いかがでしょうか。

2の①については、2の④が実現できれば一部解消するでしょうし、2の③、⑤については、現在進行形であると思います。2の②については、人が住み続ける限り、永遠の課題であります。

私は、とりあえず最初の10年間において優先すべき課題は①生活を支える都市基盤を整える ④活気のある産業活動支援だと考えます。

以下、詳細な目標を掲げます。

- a. 第1次産業において、生産・経営から流通・消費までの総合的対策。
- b. 第2次産業において、エネルギー産業を主とした企業誘致及び地元企業のエネルギー産業への転換支援。(環境問題にも、関連します。)
- c. 第1次・2次産業において、新商品開発の促進支援。
- d. 各産業における次世代を担う人材育成。
- e. 若年層のUターン促進及び定住促進。
- f. 医療従事者の確保。
- g. 高齢者介護・育児支援対策。

7点を当面の目標課題とし、それぞれ達成を図る。

期 間	重 点 目 標	備 考
H 2 3 ~ H 3 2	a. 第1次産業において、生産・経営から流通・消費までの総合的対策。 b. 第2次産業において、エネルギー産業を主とした企業誘致及び地元企業のエネルギー産業への転換支援。 c. 第1次・2次産業において、新商品開発の促進支援。 g. 高齢者介護・育児支援対策。	d、e、fについては、同時に準備していきます。
H 3 3 ~ H 4 2	d. 各産業における次世代を担う人材育成。 e. 若年層のUターン促進及び定住促進。 f. 医療従事者の確保。	最初の10年間の達成度により、決まってきます。
H 4 3 ~ H 5 2	全ての項目の検証を行い、改善及び完成を目指します。	

4 その他

当初10年間のシナリオの達成度によって、その後の予定が変わってくると思います。

私の意見としては、とりあえず最初の10年の進捗により、その後の20年間の目標達成のシナリオが描けると考えています。

以上、提言させていただきます。よろしく、お願いします。